

定期検査中の 1 号機における原子炉自動スクラム（B 系）警報の発生について

1 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 2 月 5 日午後 8 時 31 分、「原子炉自動スクラム（B 系）^{*1}」の警報が発生いたしました。

調査の結果、原子炉保護系^{*2}の計器点検の準備作業として、ジャンパー線^{*3}をジャンパー線受け台に取り付ける作業を実施しておりましたが、すでに他の端子部（「格納容器圧力高（B 系）」）に接続されていたジャンパー線に触れた際に接触不良が生じて一時的に電気回路が切れ、当該警報が発生したことがわかりました。

今後、接触不良が生じた原因について調査します。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 原子炉自動スクラム（B 系）

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号は A・B 両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

* 2 原子炉保護系

原子炉の安全性を損なうおそれのある事象が生じた場合、あるいは予想される場合、原子炉をすみやかに緊急停止（スクラム）させる装置。

* 3 ジャンパー線

電気回路の端子間を一時的につなぐ線。